

久保山俳句会

2025年9月

2 1 0

1

1

2 0

2

1 0

2 1

0 1

1

①かくれ湯に五十路の娘等（こら）と
短夜（みじかよ）な

②新涼や 風に誘はれ 筆を執る
庭だより 温気に籠る
花枇杷（びわ）の香

③庭だより 温気に籠る
花枇杷（びわ）の香
④虫の目に 千の夏日の 燃ゆるべし
百日紅（さるすべり） 散り咲散りて
日々すぎぬ

⑤百日紅（さるすべり） 散り咲散りて
日々すぎぬ
⑥ヤブガラシ 玉虫扱る花 空平らか
⑦でかしたぞ ぬびつなれども

西瓜の実

⑧藤に伏し 火照る身体（からだ）に
秋の風

⑨残暑なお 虫の音しみる 夜の闇

⑩清々（せいせい）と 風の撫でゆく
稻穂波（いなほなみ）

⑪轟（ごう） 流を カヌーす

子等（こら）の 声響き

⑫草葎（むぐら） 藪（やぶ）漕（こ）ぎで

識（し）る 種の在処（ありか）

⑬ホームより 見上ぐる空に 秋一つ
⑭虫の声 しづけさ満ちて 窓の月
⑮遠花火 韶きに坂を 駆け上る